

## はじめに

米国を旅するときに忘れてならないのが、タイムゾーンである。国土の広い米国では、飛び地のアラスカとハワイを除いて、東から順に、東部 (Eastern)、中部 (Central)、山地 (Mountain)、太平洋 (Pacific) の4つのタイムゾーンがあり、東海岸と西海岸では3時間の時差が存在する。今回はタイムゾーンに関する話題を提供したい。

## 1. タイムゾーンと夏時間

タイムゾーンによって、EST (Eastern standard time)、CST (以下同様)、MST、PST とそれぞれ表示される。このタイムゾーンに加えて、日本で導入されていない夏時間も多くの州で採用されている。2007年から、夏時間 (daylight saving time) の実施期間は3月第2日曜日(日)から11月第1日曜日(日)までのおよそ8ヶ月間と長くなった (以前は4月第1日曜日(日)から10月最終日曜日(日)まで)。表示は、EDT などと表示される。

日本で使われるサマータイムを、米国で使うと、"Yes, of course, it is summer time." と言われてしまい、夏時間の意味が伝わらないので、必ず daylight saving time (直訳すると、さしずめ「日光有効活用時間」) と言わなければならない。

北部では、夏の間日が多いので、夏時間を採用する州が多いが、南部になると採用していない州もある。たとえば、アリゾナ州やインディアナ州東部では夏時間を実施していない。また、タイムゾーンの境界は必ずしも州境と一致していないので、同じ州の中で時差があることもある。実際、アイダホ州北部は東部時間に属し、南部とは1時間の時差がある。

このように、国内に複数のタイムゾーンがあるので、CNN など全国放送のテレビのニュースでは、字幕の時刻表示に4つの時刻が順に表示される。また、会社あてに電話をかけているのに、自動メッセージで応答される会社が非常に多いのが米国であるが、その場合の自動応答メッセージでもタイムゾーンを入れて受付時間がアナウンスされるので、それをよく聞いたうえで、次に電話をしなければならぬ。昼休みを避けて電話をしようと思うと、正確に相手の時間を知る必要がある。

## 2. タイムゾーン・夏時間で注意すること

夏時間というのは、簡単に言えば、「夏の間はすべての時計を1時間進める」という制度である。冬時間から夏時間への切り替え (逆も) は、日曜日に時刻を1時間進める (戻す) ことで行う。正確には、土曜の深夜 = 日曜の朝2時に調整を行う。

土曜寝て、日曜の朝起きたら、1時間時刻が変わっているという形で実施される。

飛行機で移動する際には、到着時にその地の時刻がアナウンスされるので、そのとき認識できるが、車で運転して州境を超えるときは要注意である。筆者の失敗談であるが、イリノイ州からインディアナ州インディアナポリスに向かって車を走らせていたとき、中部時間から東部時間に切り替わっていることに気がつかず、1時間約束の時間に遅れてしまったことがある。最近では、携帯電話の時刻が自動的に切り替わるので、携帯を見ることで時刻を知ることができるようになったことをせいぜい活用したい。

## 3. Work, Life & Balance

8月にシカゴに行くと、午後9時を過ぎても空が明るい。これは夏時間のせいもあるが、北に行くほど明るい時間が長くなることを100%活用しているライフスタイルに接することができる。

米国の労働者は、一般に1日の早くから働き初め、早く帰宅することを好む人が多い。それがゆえに、冬の間は、7時半~3時半までの工場勤務時間を、夏時間になるとさらに1時間早め、6時半~2時半に勤務時間を変更する会社がある。午後2時半に会社を終え、約30分車を運転して、午後3時にはもう帰宅している人がいる。午後9時まで明るいので、車庫のペンキ塗りやゴルフのワンラウンドも可能であろう。なんだか、毎日半日の休みがあるような感じである。

日本ではどうか?フレックス勤務を導入しても、部長・課長が机に座っているので自分だけ早く帰宅しにくく、結局多くの人が午前10時スタートになっている会社はないだろうか? こういう状況下では、夏時間を導入しても、帰宅時間が遅くなるだけという気もする。仕事を短時間でこなし、自分や家族との生活の時間を大事にするという、Work, Life, Balance の考え方は、まだまだ日本に定着しているとはいえないが、米国の労働者の仕事のやり方を見ていると解決方法がある気がする。

## 4. おわりに

米国は主に4つの時間帯をもつ広大な国家であることを踏まえ、タイムゾーンの違いを前提にビジネスを構築する必要がある。米国拠点として1か所を考えると、西海岸から全米を見るのは無理がある。西海岸で朝9時に会社が始まった時には、東海岸はもう昼である。このような時差環境を考慮に入れる必要があるのである。